広島大学大学院博士課程リーダー育成プログラム

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

学 生 募 集 要 項

第二次募集

令和5(2023)年10月入学

令和 5(2023)年 2 月

広 島 大 学

○アドミッション・ポリシー

放射線による災害は全世界に影響を及ぼすグローバルな問題であり，それに対処し放射線災害復興を担うためには，学際力，国際力，マネジメント力を備えた人材が必要です。

本プログラムでは，医学，環境学，工学，理学，社会学，教育学，心理学などの基礎的知識を有し，放射線災害からの復興を，「放射線災害から生命を護る」，「放射能から環境を護る」，「放射能から社会と子どもを護る」観点から，横断的かつ統合的にマネジメントし，国際的に活躍できる分野横断・統合的グローバルリーダーの育成を目指しており，次のような学生を求めています。

（1）横断的知識と技術を身につけ，社会の発展に貢献したい人
（2）人の痛みがわかり，災害復興に貢献したいと強く願う人
（3）リーダーとなって，地域・国際社会で活躍したい人
（4）意欲，行動力，責任力，人間力に優れた人

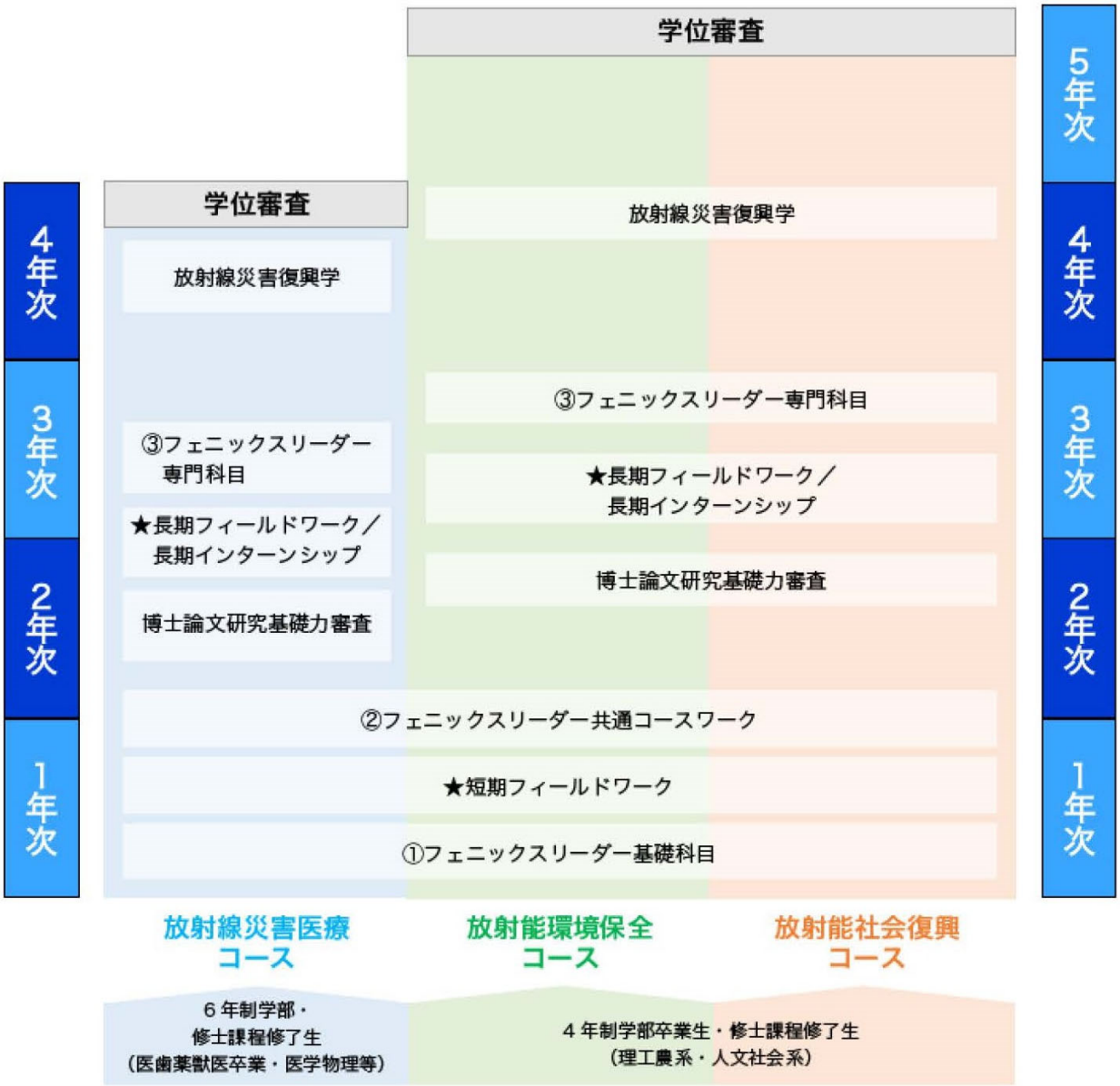
これらの人を受け入れるため，ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーを踏まえ，面接試験，学力試験，外部試験等を用いた多面的・総合的な評価による選抜を実施します。

○プログラムの概要

広島大学は，世界で最初の被爆地に誕生した総合大学として，広島の原爆被害からの復興を支えてきました。特に，原爆放射線医科学研究所(原医研)は，医歯薬保健学研究科（現医系科学研究科）や病院とともにゲノム障害科学を基盤とした新しい放射線災害医療学を切り開き，放射線影響・医科学研究の全国共同利用・共同研究拠点としても放射線影響関連研究者の育成・支援に取り組んできました。さらに，広島大学は西日本ブロックの三次被ばく医療機関として，我が国の緊急被ばく医療活動を展開するとともに，国際的な緊急被ばく医療ネットワークである国際原子力機関(IAEA)の RANET 及び WHO-REMPAN に参加し，国際的な活動にも取り組んできました。

平成 23 年 3 月 11 日に発生した未曾有の東日本大震災と，それに続く福島第一原子力発電所事故を受け，日本は初めての原発災害を経験しています。原発災害では，被ばくによる直接の人体障害や環境放射能汚染だけでなく，環境放射能汚染に対する国民の不安とストレスの増大によって，結果的に人や社会までもが破綻することが明らかとなりました。

本プログラムでは，原爆からの復興を支えた広島大学の実績と経験を生かして，医学，環境学，工学，理学，社会学，教育学，心理学等の各専門学術分野を結集し，「放射線災害復興学」を確立し，放射線災害から生命を護る人材，放射能から環境を護る人材，放射能から社会と子どもを護る人材を育成します。本プログラムでは，分野融合型専門教育として，放射線災害医療コース，放射能環境保全コース，放射能社会復興コースを置き，実践型コースワークとして，ヒロシマ・フェニックストレーニングセンター(HiPTC)での実践トレーニング演習を提供しています。放射線事故被災者に対する緊急時医療，緊急時医療要員の教育訓練，環境放射能線量測定・評価訓練などのトレーニングを通して，リスク認知能力，リスクコミュニケーション能力等を身に付け，放射線災害対応能力を培います。さらに，連携機関である福島県立医科大学，福島大学，東北大学及び長崎大学の参画による現地フィールドワークや，国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構等の研究機関，IAEA 等の国際機関，関連企業及び地方自治体等での国内外インターンシップ等の実践教育を活用して，放射線災害に適正に対応し，明確な理念の下で復興に貢献できる判断力と行動力を有した，国際的に活躍できる分野横断的統合的グローバルリーダー(フェニックスリーダー)を育成します。



○3つのコースによる人材育成

放射線災害からの復興には，「放射線災害から生命を護る」・「放射能から環境を護る」・「放射能から社会と子どもを護る」という3つの大きな要素があります。そこで，本プログラムでは，放射線災害医療コース，放射能環境保全コース，放射能社会復興コースによる分野融合型専門教育を提供します。3つのコースを提供することにより，放射線災害復興の核となる3つの要素に対応できる，学際力・国際力・マネジメント力を有したフェニックスリーダーを育成します。

①放射線災害医療コース　－放射線災害から生命を護る人材－

・原発作業員などへの急性放射線障害の病態把握と診断・治療ができる
・一般住民などへの低線量被ばくの影響評価ができる
・内部被ばく・外部被ばくの的確な線量評価ができる
・放射線高感受性である胎児・小児への適切な影響評価と診断・治療ができる
・放射線による発がんと遺伝的影響の機序とそのリスク評価ができる

・放射能汚染ストレス下における心理学的評価とメンタルケアができる

▶ 本コースは 4 年一貫の学位プログラムです。

▶ 対象：6 年制学部卒業生（医師，歯科医師，薬剤師，獣医師），修士課程修了生（医学物理士，保健師，看護師，診療放射線技師等）

②放射能環境保全コース　－放射能から環境を護る人材－

・原発事故，核テロ及び放射線事故における核分裂反応及び核分裂反応生成物の化学的性質が解析できる

・適切に環境汚染の計測，評価，解析ができる

・放射性物質の大気中，土壌中，海洋中での環境動態及び食品中の汚染動態が解明できる

・適切に放射能の除染及び放射性廃棄物の処理・保管ができる

▶ 本コースは 5 年一貫の学位プログラムです。

▶ 対象：4 年制学部卒業生（理工農系，人文社会系），修士課程修了生（理工農系，人文社会系）

③放射能社会復興コース　－放射能から社会と子どもを護る人材－

・放射線災害がもたらす人体への直接的影響のみでなく精神的ストレスなどによる人の破綻を抑制できる

・放射能汚染ストレス下における健全な子育て環境を支援できる

・風評被害などの放射能に関する社会不安に対して適切なリスクコミュニケーションが実施できる

・被災住民のコミュニティー再構築を支援できる

・協働して社会的課題を解決するためのソーシャルキャピタルを拡充できる

▶ 本コースは 5 年一貫の学位プログラムです。

▶ 対象：4 年制学部卒業生（理工農系，人文社会系），修士課程修了生（理工農系，人文社会系）

令和 5(2023)年 10 月より本学大学院博士課程リーダー育成プログラム「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」に入学させる学生を次のとおり募集します

1. 募集人員(放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム)

課程	コース	募集人員
４年制	放射線災害医療コース	若干名
５年制	放射能環境保全コース	若干名
	放射能社会復興コース	若干名

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者又は次の各号のいずれかの資格を令和 5(2023)年 9 月 30 日までに取得見込みのもの

2-1. 出願資格(４年制・放射線災害医療コース)

(1)大学の医学，歯学，薬学又は獣医学の学部において医学，歯学又は修業年限 6 年の薬学若しくは獣医学を履修してこれらの学部を卒業した者

(2)学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。)第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位(専攻分野が医学，歯学又は獣医学)を授与された者

(3)外国において，学校教育における 18 年の課程(最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学)を修了した者

(4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 18 年の課程(最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学)を修了した者

(5)我が国において，外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 18 年の課程(最終の課程は，医学，歯学，薬学又は獣医学)を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6)外国の大学その他の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。) において，修業年限が 5 年以上である課程 (最終の課程は， 医学，歯学， 薬学又は獣医学) を修了すること (当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。) により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7)文部科学大臣の指定した者(昭和 30 年文部省告示第 39 号)(抜粋)

① 旧大学令(大正 7 年勅令第 388 号)による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し，これらの学部を卒業した者

② 防衛省設置法(昭和 29 年法律第 164 号)による防衛医科大学校を卒業した者

③ 修士課程又は学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号)第 99 条第 2 項の専門職大学院の課程を修了した者及び修士の学位の授与を受けることのできる者並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し，30 単位以上を修得し，かつ，必要な研究指導を受けた者(学位規則の一部を改正する省令(昭和 49 年文部省令第 29 号)による改正前の学位規則(昭和 28 年文部省令第 9 号)第 6 条第 1 号に該当する者を含む。)で大学院又は専攻科において，大学の医

学を履修する課程，歯学を履修する課程，薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

④ 大学(医学を履修する課程，歯学を履修する課程，薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの及び獣医学を履修する課程を除く)を卒業し，又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後，大学，研究所等において 2 年以上研究に従事した者で，大学院又は専攻科において，当該研究の成果等により，大学の医学を履修する課程，歯学を履修する課程，薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(8)法第 102 条第 2 項の規定により大学院(医学，歯学，薬学又は獣医学を履修する課程に限る。)に入学した者であって，その後に入学させる本学大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(9)本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって，24 歳に達したもの

(10)大学の医学，歯学若しくは獣医学を履修する課程又は薬学を履修する課程のうち臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするものに 4 年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって，本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

【注 1】上記の出願資格(10)に該当する者が修得しなければならない単位数は，卒業に必要な全単位の 75%以上の単位を 4 年次終了時までに修得し，総修得単位のうち「優」以上の単位の比率が 90%以上とする。

【注 2】上記の出願資格(10)の 該当者として入学した場合，大学に 4 年以上在学し早期卒業しない者は，学部学生としての学籍上の取扱いは退学となります。したがって，各種国家試験等の受験資格で，大学の学部卒業が要件になっているものについては受験資格がなくなるため，十分注意すること。

【注 3】上記の出願資格(7)の③，(7)の④，(8)，(9)，(10)により出願しようとする者は出願資格の事前審査を行うので，**「3．出願資格事前審査について」**を参照すること。

2-2．出願資格（５年制・放射能環境保全コース／放射能社会復興コース）

(1)大学を卒業した者

(2)学校教育法(昭和 22 年法律第 26 号。以下「法」という。)第 104 条第 7 項の規定により独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者

(3)外国において，学校教育における 16 年の課程を修了した者

(4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者

(5)我が国において，外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

(6)外国の大学その他の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について，当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。) において，修業年限が 3 年以上である課程を修了すること(当該外国の

学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により，学士の学位に相当する学位を授与された者

(7) 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

(8) 文部科学大臣の指定した者(昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号：旧大学令による大学又は各省庁設置法・組織令，独立行政法人個別法による大学校を卒業した者等)

(9) 法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって，その後に入学させる本学大学院において，大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10) 本学大学院において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者であって，22 歳に達したもの

(11) 大学に 3 年以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。) であって，本学大学院が定める単位を優秀な成績で修得したと認めるもの

【注 1】上記の出願資格(11)に該当する者が修得しなければならない単位数は，卒業に必要な全単位の 80%以上の単位を 3 年次終了時までに修得し，総修得単位のうち「優」以上の単位の比率が 90%以上とする。

【注 2】上記の出願資格(11)の該当者として入学した場合，大学に 3 年以上在学し早期卒業しない者は，学部学生としての学籍上の取扱いは退学となります。したがって，各種国家試験等の受験資格で，大学の学部卒業が要件になっているものについては受験資格がなくなるため，十分注意すること。

【注 3】上記の出願資格(9)，(10)，(11)により出願しようとする者は出願資格の事前審査を行うので，**「3．出願資格事前審査について」**を参照すること。

3．出願資格事前審査について

(1) 出願資格事前審査対象者：出願資格(4 年制) (7)の③，(7)の④，(8)，(9)，(10)，及び出願資格(5 年制) (9)，(10)，(11)のいずれかに該当する者は，事前に出願資格の審査を行います。

出願資格事前審査対象者は，必ず書類提出前に，「インフォメーションシート（様式 1)」を作成し，**「9．照会及び出願書類等の提出先」**に提出の上，**「11．プログラム担当者（指導教員）一覧表」**及び本プログラムホームページを参照し，主任指導を希望するプログラム担当者と，自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について相談し，主任指導の了承を得てください。

事前審査提出書類は，下記出願期間中に，持参，郵送もしくは電子メールに添付して提出してください。

なお，出願書類等に不備のある場合は，受理しません。

(2) 事前審査書類提出期限：令和 5(2023)年 4 月 6 日(木)午後 5 時まで(必着)

(3)事前審査提出書類

書類等の名称	提出該当者	摘要
入学志願票（様式 2）	全員	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。
研究計画書（様式 3）	全員	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。
推薦書（様式 4）	全員	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。
研究歴証明書（様式 6）	全員	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。なお，出願資格(4 年制)(10)及び出願資格(5 年制)(11)に該当する者は，提出の必要はありません。
研究・臨床歴等概要（様式 7）		
研究業績目録（様式 8）		
学業成績証明書	全員	出身大学長(学部長)等が作成したもの(日本語又は英語で記載されたものであること)。
最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	全員	出身大学長(学部長)等が作成したもの(日本語又は英語で記載されたものであること)。 (既卒の場合，学位情報が記載されていることを確認してください。) ※中国の大学を卒業した,又は卒業見込みの方は，“毕业证书”及び“学士（硕士）学位证书”に加え，中国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)により以下の書類を取得し，あわせてご提出ください。 ※その他の国・地域（台湾．香港，マカオを含む）は提出不要です。 既卒者の場合…学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表) 卒業見込み者の場合…オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告) なお，発行手数料は志願者が負担すること。また，提出時点で Web 認証の有効期限が 15 日以上残っていることを確認してください。
受験承諾書	該当者	現に在職している者で,現職のまま本学に入学しようとする者は,本学大学院受験についての所属長の承諾書を提出すること(日本語もしくは英語で記載されたものであること)。
英語検定試験等の成績証明書等	英語を母国語としない者	入学試験日から原則過去 2 年以内に実施された英語検定試験等(TOEIC®公開テスト，TOEIC®-IP，TOEFL®-PBT，TOEFL®-iBT 等)のスコア証明書等の英語能力を証明する書類を提出してください（複数提出可)。英語検定等を実施する公的機関が発行する書類であること。
日本語検定試験等の成績証明書等	外国人志願者	日本語を学習したことがある外国人志願者のみ。 入学試験日から原則過去 2 年以内に受験した,日本語能力試験，日本留学試験の「日本語」，中国とマレーシアで実施する「外国政府派遣留学生等に対する予備教育の修了試験」又は実用日本語検定(J.TEST)のいずれかの成績証明書を提出すること。
住民票の写し/在留カードの写し	外国人志願者	外国人の志願者で日本に在住している者。
日本政府(文部科学省)奨学金証明書	国費外国人留学生	国費外国人留学生(日本国政府奨学金)は必ず提出すること。

＊所定様式は，下記ウェブサイトからダウンロードできます。

（http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/ ）

(4)事前審査結果は，令和 5(2023)年 4 月 18 日(火)までに電子メールにより通知します。
(5)事前審査提出書類の提出先 （**「9. 照会及び出願書類等の提出先」**を参照）

4. 出願手続

出願方法は，原則として「インターネット出願」としますが，持参又は郵送による提出もできますので，いずれかの方法により出願してください。

【注 1】出願において，志望コースと志望指導教員の所属コースは必ず一致させてください。
【注 2】志願者は，必ず出願前に，「インフォメーションシート（様式 1)」を作成し，**「9. 照会及び出願書類等の提出先」**に提出の上，**「11. プログラム担当者（指導教員）一覧表」**及び本プログラムホームページを参照し，主任指導を希望するプログラム担当者と，自らが希望する活動がプログラムに適しているか及び希望研究内容等について相談し，主任指導の了承を得てください。
【注 3】出願書類等に不備のある場合，及び出願期間内に入学検定料 30,000 円の支払いが完了していない場合は，受理しません。
【注 4】本プログラムを履修する学生は，「フェニックスリーダー育成プログラム」の修了要件に加え，所属する研究科専攻の修了要件を満たす必要があります。
【注 5】広島大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「国立大学法人広島大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。それにより，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

(1)出願期間

令和 5(2023)年 5 月 9 日(火)から令和 5(2023)年 5 月 15 日(月)午後 5 時まで(必着)

持参，郵送の場合の受付時間は，午前 8 時 30 分から午後 5 時までです。

(2) インターネット出願の流れ（出願期間内に，次の 7 つのステップを完了してください。）

Step 1: インターネット出願システムにアクセスする

アクセスページ

広島大学入試情報
https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyushi

◆システムに関するお問い合わせ先

インターネット出願ヘルプデスク（日本語対応のみ）
受付時間：10:00 から 18:00 まで
（年末年始（12 月 30 日～1 月 3 日）を除く）
電話番号： 03-5952-3902
※日本国外及び IP 電話からもご利用いただけます。

UCARO 事務局（日本語対応のみ）
受付時間：10:00 から 18:00 まで（12 月 30 日～1 月 3 日を除く）
電話番号：03-5952-2114
※日本国外及び IP 電話からもご利用いただけます。

Step 2: UCARO ログイン画面から「UCARO 会員登録」を選択

出願には「UCARO」への会員登録（無料）が必須です。
UCARO については，以下の URL を参照してください。
https://www.ucaro.net/

Step 3: インターネット出願システムに志望情報等を入力

画面上の指示に従って，氏名，住所等を入力してください。

Step 4: 写真をアップロード

デジタル写真（ファイル形式等：JPEG）を画面の案内に従ってアップロードしてください。
郵送での提出はできません。

※ 出願時にアップロードされた写真は，受験時の本人確認のため使用するほか，入学後の学生証及び本学の教務システムでも修了まで使用します。
このため，入学後にも使用可能な写真のアップロードを推奨します。
なお，写真アップロード後の差し替えはできません。
入学後に学生証の内容(写真や姓名の漢字表記)を変更する場合は，1,000 円の手数料が必要です。

Step 5: 入学検定料（30,000 円）の支払い

「決算情報を入力」の画面で，次の中から支払方法を選択してください。

1. クレジットカード：VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club
2. コンビニエンスストア：セブンイレブン，ローソン，ミニストップ，ファミリーマート，デイリーヤマザキ，セイコーマート
3. 金融機関 ATM 【Pay-easy】
4. ネットバンキング

(注)
・入学検定料の他に，１回の出願ごとに必要なインターネット出願システム手数料は，志願者負担となります（インターネット出願システム手数料の金額は出願時に表示されます。）
・出願受付後はいかなる理由があっても，既納の入学検定料は返還しません。
なお，次の (1)，(2) の場合は，既納の入学検定料から振込手数料を差し引いて返還します。
本学から検定料返還のための「返還請求書」を郵送しますので，「出願番号」，「ふりがな」，「氏名」，「電話番号」，「住所」，「振込先」及び「返還請求の理由」等を記入・押印の上，令和5(2023)年 6 月 30 日（金）までに「9. 照会及び出願書類等の提出先」の送付先に郵送してください。ただし，いずれの場合もインターネット出願の手数料は返還対象外です。
(1) 出願書類を提出しなかった，又は受付されなかった場合
(2) 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

Step 6: 出願情報の登録完了

出願番号（6 桁）が表示されるので，メモしておいてください。

Step 7: 出願書類の郵送

日本国内からの出願の場合は，市販の角形 2 号封筒（横 24cm×縦 33.2cm で A4 サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を用意し，必要書類をすべて封入の上，出願期間内に到着するよう，書留・速達郵便で，**「9. 照会及び出願書類等の提出先」**宛郵送してください。

日本国外からの出願の場合は，A4 サイズの書類が入る封筒（横 24cm×縦 33.2cm 程度）を用いて，EMS（Express Mail Service）等の最速の国際郵便で郵送してください。

(3)出願書類等

出願資格事前審査により出願資格の認定を受けた者は，既に提出した書類等の提出は必要ありません。小論文の提出及び入学検定料の支払を行ってください。

書類等の名称	提出該当者	摘要
入学志願票（様式 2）	全員 ※インターネット出願利用者を除く	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。
研究計画書（様式 3）	全員	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。
推薦書（様式 4）	全員	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。原本を提出すること。
小論文（様式 5-1）	全員	所定の用紙を使用し，日本語もしくは英語で記述すること。「共通テーマ」1 題「コース別テーマ」2 題
学業成績証明書	全員	出身大学長(学部長)等が作成したもの(日本語又は英語で記載されたものであること)。原本または原本証明された写しを提出すること。
最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	全員	出身大学長(学部長)等が作成したもの(日本語又は英語で記載されたものであること)。原本または原本証明された写しを提出すること。 (既卒の場合，学位情報が記載されていることを確認してください。) ※中国の大学を卒業した,又は卒業見込みの方は，“毕业证书”及び“学士（硕士）学位证书”に加え，中国教育部認証システム（中国高等教育学历证书查询 http://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp)により以下の書類を取得し，あわせてご提出ください。 ※その他の国・地域（台湾．香港，マカオを含む）は提出不要です。 既卒者の場合…学歴証書電子登録票(教育部学历证书电子注册备案表) 卒業見込み者の場合…オンライン在籍認証レポート(教育部学籍在线验证报告) なお，発行手数料は志願者が負担すること。また，提出時点で Web 認証の有効期限が 15 日以上残っていることを確認してください。
入学検定料 30,000 円 (出願期間内に支払うこと)	全員 (国費外国人留学生は除く)	持参又は郵送により出願する志願者には,広島大学入学検定料振込依頼書(入金票)【本学専用用紙】を郵送します。 入学志願票貼付用,志願者保管用,入学検定料振込依頼書(入金票)の太ワクの中に，志願者氏名及び志願者住所を必ず記入して，指定の期日までに，都市銀行，地方銀行等の本支店の窓口で振り込むこと。(ATM からは振り込めないため，注意すること。)なお，振込手数料は振込人の負担となります。 ※振込後，受付金融機関出納印のある（入学志願票貼付用）「入学検定料振込証明書」を提出してください。
受験承諾書	該当者	現に在職している者で,現職のまま本学に入学しようとする者は,本学大学院受験についての所属長の承諾書を提出すること(日本語もしくは英語で記載されたものであること)。
英語検定試験等の成績証明書等	英語を母国語としない者	入学試験日から原則過去 2 年以内に実施された英語検定試験等(TOEIC®公開テスト,TOEIC®-IP,TOEFL®-PBT,TOEFL®-iBT 等)のスコア証明書等の英語能力を証明する書類を提出すること（複数提出可)。英語検定等を実施する公的機関が発行する書類であること。

日本語検定試験等の成績証明書等	外国人志願者	日本語を学習したことがある外国人志願者のみ。 入学試験日から原則過去2年以内に受験した，日本語能力試験，日本留学試験の「日本語」，中国とマレーシアで実施する「外国政府派遣留学生等に対する予備教育の修了試験」又は実用日本語検定(J.TEST)のいずれかの成績証明書を提出すること。
住民票の写し/在留カードの写し	外国人志願者	外国人の志願者で日本に在住している者。
日本政府(文部科学省)奨学金証明書	国費外国人留学生	国費外国人留学生(日本国政府奨学金)は必ず提出すること。

＊所定様式は，下記ウェブサイトからダウンロードできます。
(http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/nyushi/)

(4)出願書類等の提出

① 提出方法

出願期間中に，原則として持参又は郵送（簡易書留郵便など，配達記録が残る方法に限る。）で提出してください。

郵送による場合は，封筒表面に「プログラム願書在中」と朱書してください。また，必ず郵送前に，出願書類一式を電子メールに添付して送付してください。出願書類等が出願期間中に届かない場合，及び出願書類等に不備がある場合は，受理しません。なお，書類等の郵送は，必ずしもインターネットによる出願登録後である必要はありません。特に，郵送に時間がかかることが見込まれる海外から出願される方は，郵便事情等を十分考慮して早めに送付してください。

② 提出先

「9．照会及び出願書類等の提出先」を参照

(5)その他

① 受付後の記載内容の変更は，認めません。

② 出願書類及び入学検定料は，返還しません＊。

③ 出願書類等に記載された個人情報(氏名，生年月日，性別，その他の個人情報等)は，入学者選抜及び合格通知並びに入学手続を行うために利用します。合格者の入学後は，学生支援関係(奨学金申請，授業料免除申請等)業務を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係教職員以外への提供は行いません。但し，個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結した上で，コンピュータ処理をするため，関連業務を外部の事業者に委託することがあります。

④ 合格後あるいは入学後，提出書類に虚偽の記載や詐称があることが判明した場合，合格・入学を取り消します。

⑤ 卒業（修了）見込で出願して合格した者が，入学日までに卒業（修了）できなかった場合，入学を許可しません。

5．受験上及び修学上の配慮を必要とする者の事前相談

身体等に障害のある者等，受験上及び修学上の配慮を必要とする者は，次の事項を記載した申請書(様式は定めません)を持参もしくは電子メールに添付して提出してください。

(1)申請の時期：令和5(2023)年4月6日(木)まで

(2)申請書の記載内容

① 志願者の氏名，住所，連絡先電話番号

② 出身大学名
③ 障害の種類・程度(医師の診断書又は障害者手帳(写)を添付してください)
④ 受験上の配慮を希望する事項
⑤ 修学上の配慮を希望する事項
⑥ 出身大学でとられていた特別措置
⑦ 日常生活の状況

6. 選抜の方法等

(1)第 1 次選抜(書類審査)

志願者の出願書類に基づき，第 1 次選抜を行います。

この結果は，令和 5(2023)年 6 月 13 日(火)までに電子メールにより通知します。

(2)第 2 次選抜(面接審査)

日時：令和 5(2023)年 7 月 1 日(土)

場所：広島大学　霞キャンパス(広島市)

第 1 次選抜(書類審査)に合格した者に，学問分野，リーダーシップの素養，英語力等に関する口述試験を行います。試験実施の日時・場所についての詳細は，第 1 次選抜(書類審査)に合格した者にのみ個別に電子メールにより通知します。

国外在住受験者に限り，オンライン（web 会議システム利用）による口述試験を行います。(事前に接続テストを行います。)

(注 1) 第 2 次選抜(面接審査)のための来学時の費用等は，自己負担となります。

(注 2) 新型コロナウイルス感染症の拡大状況等により来学が困難な場合は，国内在住者であってもオンライン面接を実施する場合があります。

(3)合否判定方法及び採点評価基準

①入学者選抜の合否判定方法

下記の採点評価基準に従い，書類審査及び面接審査等の結果を踏まえ，総合的に判定します。

②採点評価基準

書類審査及び面接審査，語学能力を考慮して総合的に選考します。なお，選抜試験は，志望動機，志望分野への適性及び基礎学力を選考の評価基準とし，三段階評価を行います。

(4)合格者の発表：令和 5(2023)年 8 月 4 日（金)午前 10 時(予定)

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ
(http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/)に掲載し，合格者には電子メール及び郵送により通知します。なお，電話等による照会には，原則として応じません。

7. 修学上の経済支援について

本プログラム履修学生に対して，現在，次の(1)(2)の支援を行っています。詳しくは，本プログラムホームページ（ http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/ ）を参照してください。

(1) 成績優秀者に対する奨学金給付（LP エクセレント奨学金）
(2) 成績が優秀で，かつ，経済的な理由により授業料納入が困難な者に対する授業料免除（全額または半額）

また，修学上必要となる経費について，本プログラムが定める範囲において支給します。
※上記(1)(2)の経済支援は，令和 5(2023)年 2 月現在のものであり，変更が生じる場合があります。

8. 入学に要する経費

(1)入学料 282,000 円
(2)授業料(年額) 535,800 円
① 既納の入学料は，いかなる理由があっても返還しません。
② 上記記載の金額は令和 5(2023)年 2 月現在のものです。入学時及び在学中に納付金の改定が行われた場合には，改定後の納付金を納入することになります。

9. 照会及び出願書類等の提出先 （出願等に際して不明な点があれば，下記へ照会してください）

広島大学フェニックスリーダー育成プログラム事務室（霞キャンパス学生支援グループ内）
〒734-8553 広島市南区霞一丁目 2 番 3 号
Tel: 082-257-1995 E-mail: phoenix-program@office.hiroshima-u.ac.jp
電子メールでのお問い合わせの際には，件名に「[●●（あなたのお名前)]出願について」と書いてお送りください。

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラムホームページ
（http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/ ）

10. キャンパス内全面禁煙

広島大学は，令和 2(2020)年 1 月からキャンパス内全面禁煙になっています。

11. プログラム担当者（指導教員）一覧表

(1) プログラム担当者（指導教員）一覧表は令和 5(2023)年 10 月現在（予定）のものであり，変更が生じる場合があります。
(2) プログラム担当者の詳細については，本プログラムホームページをご確認ください。
（http://phoenixprogramlp.hiroshima-u.ac.jp/lab/ ）

●放射線災害医療コース

氏名	職名	専門	所属する研究科・専攻の修了要件プログラム
田代 聡 ※コースリーダー	教授	生化学、分子生物学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
松浦 伸也	教授	遺伝医学、放射線生物学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
稲葉 俊哉	教授	血液学、分子生物学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
東 幸仁	教授	循環器内科	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
廣橋 伸之	教授	放射線災害医療、救急医学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
保田 浩志	教授	放射線防護、線量評価	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
神沼 修	教授	実験動物学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム
吉永 信治	教授	放射線疫学	医系科学研究科 医歯薬学専攻 放射線医科学専門プログラム

氏名	職名	専門	所属する研究科・専攻の修了要件プログラム
粟井　和夫	教授	放射線診断学	医系科学研究科　医歯薬学専攻　医学専門プログラム
志馬　伸朗	教授	救急集中治療医学	医系科学研究科　医歯薬学専攻　医学専門プログラム
宿南　知佐	教授	口腔生化学	医系科学研究科　医歯薬学専攻　歯学専門プログラム
小松澤　均	教授	細菌学	医系科学研究科　医歯薬学専攻　歯学専門プログラム

●放射能環境保全コース

氏名	職名	専門	所属する研究科・専攻の修了要件プログラム
中島　覚 ※コースリーダー	教授	放射化学	先進理工系科学研究科　先進理工系科学専攻 基礎化学プログラム
深澤　泰司	教授	素粒子、原子核、 宇宙線、宇宙物理	先進理工系科学研究科　先進理工系科学専攻 物理学プログラム
遠藤　暁	教授	量子エネルギー工学、 線量評価	先進理工系科学研究科　先進理工系科学専攻 機械工学プログラム
半井　健一郎	教授	コンクリート工学	先進理工系科学研究科　先進理工系科学専攻 社会基盤環境工学プログラム
長沼　毅	教授	生物海洋学、 微生物生態学	統合生命科学研究科　統合生命科学専攻 食品生命科学プログラム
山田　俊弘	教授	植物生態学、 森林生態学	統合生命科学研究科　統合生命科学専攻 生命環境総合科学プログラム
和崎　淳	教授	植物栄養学, 土壌微生物学	統合生命科学研究科　統合生命科学専攻 生命環境総合科学プログラム/生物資源科学プログラム
山本　卓	教授	分子遺伝学	統合生命科学研究科　統合生命科学専攻 数理生命科学プログラム/生命医科学プログラム

●放射能社会復興コース

氏名	職名	専門	所属する研究科・専攻の修了要件プログラム
浦邉　幸夫 ※コースリーダー	教授	整形外科学	医系科学研究科　総合健康科学専攻　保健科学プログラム
森山　美知子	教授	慢性期看護学	医系科学研究科　総合健康科学専攻　保健科学プログラム
加古　まゆみ	准教授	災害看護、災害保健	医系科学研究科　総合健康科学専攻　保健科学プログラム
後藤　弘志	教授	西洋哲学、倫理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 人文学プログラム
後藤　秀昭	准教授	地理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 人文学プログラム
服巻　豊	教授	臨床心理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 心理学プログラム
中尾　敬	准教授	認知心理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 心理学プログラム
尾形　明子	准教授	臨床心理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 心理学プログラム
築達　延征	教授	組織文化、安全文化、 危機管理、質的調査法	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 マネジメントプログラム
坂田　桐子	教授	社会心理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 人間総合科学プログラム

氏名	職名	専門	所属する研究科・専攻の修了要件プログラム
岩永　誠	教授	実験心理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 人間総合科学プログラム
杉浦　義典	准教授	臨床心理学	人間社会科学研究科　人文社会科学専攻 人間総合科学プログラム

出 願 書 類（様式）

令和 5(2023)年 10 月入学 Enrollment October 2023
広島大学フェニックスリーダー育成プログラム　インフォメーションシート
Information Sheet
For Admission to Hiroshima University Phoenix Leader Education Program

I. 志願者 / Applicant				
フリガナ Name in Katakana, if any				
氏　名 Name of Applicant	姓　Family Name	Middle Name	名　First Name	
志望コース Desired Course	☐ 放射線災害医療コース　Radiation Disaster Medicine Course ☐ 放射能環境保全コース　Radioactivity Environmental Protection Course ☐ 放射能社会復興コース　Radioactivity Social Recovery Course			
生年月日 Date of Birth	年/　月/　日/ (Year)　(Month)　(Day)	満年齢 (2023 年 10 月 1 日現在) Age as of October 1, 2023	歳/ Yeas old	
国　籍 Nationality		性別 Gender	☐男/Male　☐女/ Female	
志望指導教員名 Name of Desired Supervisor	☐事前コンタクト**済**/ Have Contacted　☐事前コンタクト**未**/ Have Not Contacted			
推薦者 Recommender	氏名/ Name	所属/ Organization	役職/ Position	
経費支弁計画 （支出元） Financial Resources/ Sources of Funds	☐本人/ Self　☐親族/ Family ☐政府または他の機関/ Organization which provides scholarship ・名称/Name [　] ・申請状況/ Application status [☐Successful ☐In progress ☐Not yet applied] ☐その他/ Others（　）			
英語検定試験 スコア等 English qualification/ scores	※該当のものにチェックを付け，点数を記入してください。Place a check mark and fill in the score. **※英語が母語の方は記入必要ありません。**Not necessary if English is your first language. ☐ TOEIC®公開テスト(Open Exam)　[Score:　] ☐ TOEIC®-IP　[Score:　] ☐ TOEFL®-PBT　[Score:　] ☐ TOEFL®-iBT　[Score:　] ☐ Others（　）			

英語学習歴及び能力 Learning Period and Proficiency in English Language ※英語が母語の方は記入の必要はありません。 Not necessary if English is your first language.	学習期間/ Period of study　　教育機関/ School attended ____.____-____.____　　_____ ____.____-____.____　　_____ 読解力(Reading)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner) 会話力(Speaking)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner) 筆記力(Writing)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner) 聴解力(Listening)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner)
日本語学習歴及び能力 Learning Period and Proficiency in Japanese Language ※日本語が母語の方は記入の必要はありません。Not necessary if Japanese is your first language.	学習期間/ Period of study　　教育機関/ School attended ____.____-____.____　　_____ ____.____-____.____　　_____ 読解力(Reading)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner) 会話力(Speaking)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner) 筆記力(Writing)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner) 聴解力(Listening)： ☐優(Fluent) ☐良(Good) ☐可(Intermediate) ☐不可(Beginner)

II. 志望コース・研究内容 / Intended Course/ Research Field	
研究領域 Research Field	☐医学/Medical Science ☐歯学/Dentistry ☐薬学/Pharmaceutical sciences ☐医学物理学/Medical Physics ☐保健学/Health Sciences ☐看護学/Nursing science ☐理学/Science ☐工学/Engineering ☐生物生産/Applied Biological Science ☐経済学/Economics ☐法学/Law ☐社会科学/Social science ☐教育学/Education ☐情報通信学/ICT ☐その他/Others (　　)
所属学会 Academic Society, if any	
社会活動及びボランティア活動歴 Social Activities / Volunteer Activities	活動内容/ Description of activity _____ 所属先・団体/ Organization _____ 活動期間/ Period of activity ____.____-____.____

III. 学歴・職歴 / Educational Background/ Working Experience

			在学期間 Period of Attendance Year／Month	学位 Degree
学歴 Academic Background ※必要に応じて行を追加し，すべての欄に正確な情報を記入してください。 Please fill in all the columns accurately. *Add rows as needed.	小学校 Elementary School		From ／ To ／	
	中学校 Middle School		From ／ To ／	
	高等学校 High School		From ／ To ／	
	大学 Undergraduate Level	大学名/ University 学部名/ Department 学科・専攻名/ Major	From ／ To ／	**Bachelor** of [ ]
	大学院 Graduate Level	大学名/ University 研究科名/ Graduate School 専攻名/ Major	From ／ To ／	**Master's Degree** in [ ]
		大学名/ University 研究科名/ Graduate School 専攻名/ Major	From ／ To ／	**Doctoral Degree** in [ ]

職歴（現職を含む） Working Experience including your current place of employment ※必要に応じて行を追加してください。 *Add rows as needed.	組織名 Name of Organization	就労期間 Period of Employment Year／Month	業種 Type of work	職位 Position
		From ／ To ／		
		From ／ To ／		
		From ／ To ／		
		From ／ To ／		

現在の状況 Current Status	☐会社員/Employed　☐自営業/Self-Employed　☐無職/Unemployed ☐学生/Student　☐その他/Others　（　　）

連絡先 Address	〒(postal code)： E-mail：　　@ 電話/ Phone： 携帯電話/ Cell Phone：

様式２ /Form2

広島大学

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

令和 5(2023)年 10 月入学　入学志願票

Enrollment October 2023 / Application Form

For Admission to Phoenix Leader Education Program for Renaissance from Radiation Disaster, Hiroshima University

写真 Attach Photo
・正面向 Front view
・上半身Upper half of the body
・脱帽 Without hat
・4 cm×3 cm
・最近三ヶ月以内撮影
Taken within three months

受験番号 Applicant Number	(記入しないでください/ Office use only)		
フリガナ			
氏　名 Name of Applicant	姓　Family Name	Middle Name	名　First Name
生年月日 Date of Birth	年/　　月/　　日/ (Year)　(Month)　(Day)	満年齢 (2023 年 10 月 1 日現在) Age as of October 1, 2023	歳/ Yeas old
国　籍 Nationality		性別 Gender	□男/Male　□女/ Female
志望コース Desired Course □にチェックを入れてください。 Please choose one	□　放射線災害医療コース　Radiation Disaster Medicine Course □　放射能環境保全コース　Radioactivity Environmental Protection Course □　放射能社会復興コース　Radioactivity Social Recovery Course		
志望指導教員名 Name of Desired Supervisor	事前にコンタクトを取り，主任指導の了承を得た教員名を記入してください。 State the name of the program member whom you wish to have as your primary advisor. You must contact and obtain his/her consent beforehand. ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿		
推薦者 Recommender	氏名　Name	所属　Organization	役職　Position
英語検定試験 スコア等 English qualification/ scores	※該当のものにチェックを付け，点数を記入してください。Place a check mark and fill in the score. ※英語が母語の方は記入必要ありません。Not necessary if English is your first language. □ TOEIC®公開テスト(Open Exam)　[Score:　　] □ TOEIC®-IP　[Score:　　] □ TOEFL®-PBT　[Score:　　] □ TOEFL®-iBT　[Score:　　] □ Others（　　）		
日本語検定試験 スコア等 Japanese certification examination etc. scores	※該当のものにチェックを付けてください。Place a check mark. □ 日本語能力試験 [レベル：　　] □ 日本留学試験の「日本語」 □「外国政府派遣留学生等に対する予備教育の修了試験」 □ 実用日本語検定(J. TEST) [レベル：　　] □ その他（　　）		

様式２ /Form2

<table>
<tr><td rowspan="8">学歴
Academic Background

※必要に応じて行を追加し, すべての欄に正確な情報を記入してください。
Please fill in all the columns accurately.
*Add rows as needed.</td><td colspan="2">学校名
Name of School</td><td>在学期間
Period of Attendance
Year／Month</td><td>学位
Degree</td></tr>
<tr><td>小学校
Elementary School</td><td></td><td>From ／
To ／</td><td></td></tr>
<tr><td>中学校
Secondary School</td><td></td><td>From ／
To ／</td><td></td></tr>
<tr><td>高等学校
Upper Secondary School</td><td></td><td>From ／
To ／</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="3">大学
Undergraduate Level</td><td>大学名/ University</td><td rowspan="3">From ／
To ／</td><td rowspan="3">Bachelor of
[ ]</td></tr>
<tr><td>学部名/ Department</td></tr>
<tr><td>学科・専攻名/ Major</td></tr>
<tr><td rowspan="6">大学院
Graduate Level</td><td>大学名 University</td><td rowspan="3">From ／
To ／</td><td rowspan="3">Master’s Degree in
[ ]</td></tr>
<tr><td>研究科名 Graduate School</td></tr>
<tr><td>専攻名 Major</td></tr>
<tr><td>大学名 University</td><td rowspan="3">From ／
To ／</td><td rowspan="3">Doctoral Degree in
[ ]</td></tr>
<tr><td>研究科名 Graduate School</td></tr>
<tr><td>専攻名 Major</td></tr>
<tr><td rowspan="4">職歴
Employment History

※必要に応じて行を追加し, すべての欄に正確な情報を記入してください。
Please fill in all the columns accurately.
*Add rows as needed.</td><td colspan="2">組織名
Name of Organization</td><td>就労期間
Period of Employment
Year／Month</td><td>業種
Type of work</td><td>職位
Position</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>From ／
To ／</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>From ／
To ／</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>From ／
To ／</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>出願資格
Qualification</td><td colspan="5">募集要項を確認のうえ，出願しようとする資格の番号を記入してください（出願資格事前審査対象者のみ）。
Please write down the number of Qualification by the Application Guide (Only the applicant who is subject of Preliminary Evaluation).</td></tr>
<tr><td>連絡先
Address</td><td colspan="5">〒(postal code)：

E-mail：　　@
電話/ Phone：
携帯電話/ Cell Phone：</td></tr>
</table>

様式３ /Form3

研究計画書　Research Plan

氏　名 Name：	
研究題目 Research Title：	
年月 Year, Month	研究計画　Research Plan

様式 4/Form4

推薦書　Recommendation Letter

放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム

Phoenix Leader Education Program for Renaissance from Radiation Disaster

【志願者／Applicant】

氏名／Name：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（Last）　（Middle）　（First）

【推薦者／Recommender Summary】

氏名／Name：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 印／Signature ＿＿＿＿＿＿＿＿

職名／Title or Position：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

所属／Organization：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

電話番号／Phone：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　Email：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

記載日／Signature Date (Year／Month／Day)：＿＿＿＿＿＿＿／＿＿＿＿＿／＿＿＿＿＿＿

1. 志願者との関係をご記入ください。
   Please describe your relationship with the applicant.

2. リーダーとして貢献できる志願者の知識，技能，特徴等をご記入ください。
   Please describe the skills, abilities, and characteristics of the candidate that would contribute to his/her success as a leader.

広島大学放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム 小論文様式

Essay Form for Admission to Phoenix Leader Education Program for Renaissance from Radiation Disaster, Hiroshima University

氏名/ Name：

■小論文１　Essay 1（全コース共通 Common to all courses）

※日本語もしくは英語で記述すること。Describe in either Japanese or English.

（1600 字以内/ 800 English words or less）

自身の経験を踏まえ，放射線災害復興を推進するリーダーが備えるべき知識とスキルについて考えを述べなさい。 Based on your experience, describe the knowledge and skills required of a leader who directs the recovery from a radiation disaster.

■小論文 2　Essay 2

※希望するコースのテーマ 4 題のうち 2 題 選び，日本語もしくは英語で記述すること。

Choose two topics from your desired course, and describe in either Japanese or English.

（1600 字以内/ 800 English words or less）

＜放射線災害医療コース＞　Radiation Disaster Medicine Course
1. 放射線災害医療を推進する上で求められるチームワークとリーダーシップについて述べなさい。 Describe the teamwork and leadership required to promote the radiation disaster medicine. 2. 放射線災害医療を推進する上で必要な国際力について述べなさい。 Describe the idea of “global-mind” required to promote the radiation disaster medicine. 3. 放射線障害の治療における再生医療の役割について述べなさい。 Describe the role of regenerative medicine in the treatment of radiation injury. 4. 緊急被ばく医療における生物学的および物理的な被ばく線量の評価法について述べなさい。 Describe the biological and physical dosimetry in radiation emergency medicine.
≪Topic No.　　≫
≪Topic No.　　≫

＜放射能環境保全コース＞ Radioactivity Environmental Protection Course

1. 放射線災害復興のためには，従来の技術のみならず AI 等最新の技術も要求される。どのような最新の技術があれば，復興が進むか述べなさい。
   Not only conventional techniques but also the “latest techniques” such as AI are demanded for radiation disaster recovery. Describe the types of “latest techniques” needed to accelerate the recovery.

2. 放射能汚染地域に住む住民の外部被ばくと内部被ばくの測定方法を記述しなさい。
   Describe the methods for measuring external and internal exposure for residents living in a radioactive contamination area.

3. 放射線災害と汚染の状況を設定し，環境から放射性物質を除染する方法を記述しなさい。
   Describe the methods for decontaminating the environment of radioactive materials by assuming both a radiation disaster and the resultant contaminated situation.

4. 過去に起こった原子力災害の例を一つあげて，災害発生の原因と汚染の状況について述べなさい。
   Choose one example of a past nuclear disaster from anywhere in the world and describe the causes of the accident and the situation in the contaminated area.

≪Topic No.　　≫

≪Topic No.　　≫

＜放射能社会復興コース＞ Radioactivity Social Recovery Course

1. 放射線災害後に避難住民の生活習慣病が増えることが示されている。その予防法や対策を述べなさい。
   It has been shown that the number of patients suffering from lifestyle related diseases will increase among evacuated residents after a radiation disaster. Describe the methods for prevention and countermeasures for this.
2. 放射線災害が生じた際に，地域住民の生活にどのような影響が出るか述べなさい。
   Discuss possible effects on the lives of local residents when a radiation disaster occurs.
3. 放射線災害が生じた際に，分断された地域の再統合が必要となる。どのような問題が生じるか具体的に挙げ，その対策を述べなさい。
   After a radiation disaster, divided societies need to be reunited. Explain possible problems and discuss some countermeasures.
4. 放射線災害が生じたとき，住民を避難させる際に特に高齢者に対して注意することは何か述べなさい。
   When a radiation disaster occurs, discuss what kind of special consideration needs to be given, especially to the elderly, at the time of evacuation.

≪Topic No.　　≫

≪Topic No.　　≫

様式 6/Form6

研究歴証明書　Certificate of Research Experience

国籍 Nationality	
氏名 Name	
生年月日 Date of Birth Year／Month／Day	

上記の者は，下記のとおり研究歴を有することを証明する。
This is to certify that the above person was engaged in the research activities as follows.

記

在籍した機関，部局名及び身分 Status and Institution Attended	
研究期間 Duration of Research	年　月　日から　年　月　日まで （　年　か月間） From:＿＿＿＿＿＿ to:＿＿＿＿＿＿ Year／Month／Day　Year／Month／Day ＝ (Total)＿＿＿＿＿＿ Years／Months
研究題目及び研究内容 Title and Outline of Research	
指導教員（職・氏名） Name and Position of Academic Adviser	

日付
（Date）：＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名/ Name:　印/ Signature

職名/ Managerial Position:

機関名/ Institution:

所在地/ Address of Institution:

氏　名/Name：

研究・臨床歴等概要　Summary of Past Research and Clinical Activity etc.

年月 Year, Month	**職歴**（研究計画にかかる過去の職務内容等） Professional Career Relevant to Your Research Plan

※職歴は大学卒業等から記入してください。

State professional career after university graduation.

氏　名 Name：

研究業績目録　Catalog of Past Research Achievements

（学会及び社会等における活動，その他特記すべき事項 Academic Activities, Social Activities and so on)

学術論文，研究発表・報告，特許等の名称 name of academic papers, research reports published and Patents, etc.	年月日 Year, Month	発行所，発表雑誌 発表学会等の名称 name of publishing house, published magazines, academic conference presentations, etc.	申請者を含む共著者名，共同開発者名等 name of co-authors including the applicant, co-developers, etc.

※年代順に記入してください。研究業績のない場合は，「なし」と記入してください。

Please fill in chronological order. If there are no research achievements, please write "nothing."